

区社協事業のご案内

平成31年度 さかえふれあい助成金説明会

さかえふれあい助成金は、区民同士の支え合い活動によるボランティア活動など、地域福祉保健に貢献する事業の支援を目的としています。

募集にあたり、説明会を次のとおり開催します。

- 日時：①平成31年3月12日(火) 10時～
②平成31年3月12日(火) 14時～
(①、②とも、同一内容です)

場所：ピアハッピー栄

申込方法：団体名・参加者氏名・電話番号・希望日を明記の上、ハガキ・FAX・電話で、2月26日(火)までにお申込みください。



お願いします。

※会場の都合上、各団体1名の参加でお願いします。
※助成金の申込みは、平成31年4月15日(月)～4月26日(金)です。
申込みされる場合は、なるべく説明会にご参加ください。

栄区社会福祉協議会 栄区桂町279-29

問合せ
申込先

TEL:045(894)8521
FAX:045(892)8974

第20回 ようこそ・であい広場

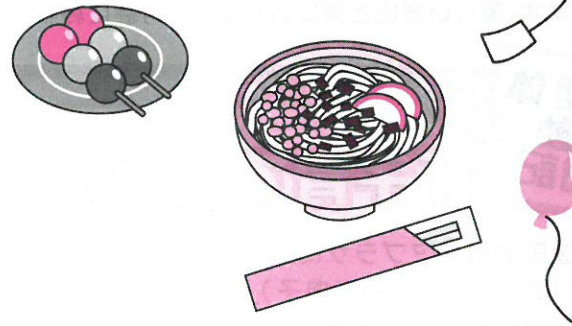
栄区福祉保健活動拠点を利用しているグループによるお祭りです。

栄区内のボランティアグループ・当事者グループ・障害者施設等の活動PRや地域との交流を図るため開催します。

日時：平成31年3月2日(土) 10時～14時

場所：ピアハッピー栄
内容：バザー(リサイクル品・手作り品)
食べ物いろいろ模擬店
パソコン体験コーナー
子どもの遊びコーナー

主催：ようこそ・であい広場 実行委員会



区社協ホームページでも事業紹介をしています。



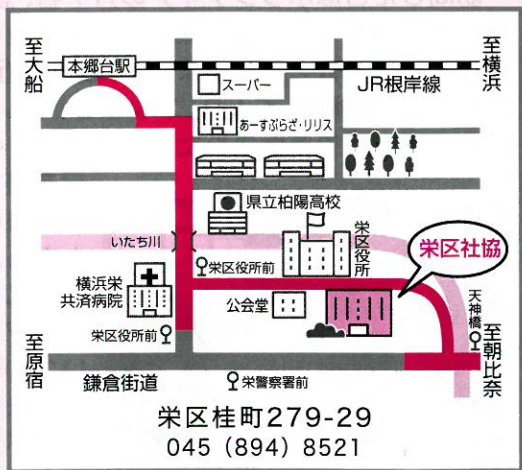
詳しくはコチラ

栄区社協 検索

本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力でお配りしています。

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】
豊(田)堀田(賢) 笠(間)田(中)貞代
小管(ヶ)谷(浦)井(秀)治 本郷(中)央(長)沼(勲)
本郷(第)三(寺)本(久)美(子) いで(た)ち(二)村(忠)孝
上郷(西)戸(潤)弘(志) 野(菊)尾(美)南(子)
上郷(東)鈴(木)ア(ヤ)子 たん(ぼ)ぼ(大森真由美)

【編集後記】
今号では子どもの居場所づくりについての活動状況が紹介されており、各地域でもそれぞれに特色や地域性をいかした子ども達の居場所や遊び場所等、みんなの目が行き届くようになりました。また放課後キッズクラブを取り入れている小学校もありません。子ども達にとっては学校や家庭以外にも安全で安心して過ごせる場所が必要です。
私達大人は地域貢献の一環として協力し、子ども達を見守りながら顔の見える関係づくりの輪を大きく広げようという取り組みをしています。少子高齢化と共に多様化した現代においては、次世代を担う子ども達の育成や未来にむけての一人ひとりの幸せと、更なる地域の発展を目指して微力ながら歩んでいきたいと思っています。(田中)



さかえ区社協だより

No.49

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

電話 045(894)8521 Fax 045(892)8974

E-MAIL: office@sakaeku-shakyo.jp URL: http://www.sakaeku-shakyo.jp

平成31年2月1日発行

承認：栄区連第141号

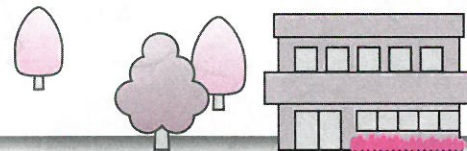
あなたも子どもの居場所づくりに

参加してみませんか?



人と関わる事が少なくなった今だからこそ、人のぬくもりを感じる場所が求められています。

自分の居場所があって、受け入れてくれる人がいる。そんな居場所が増えています。



「子どもの居場所づくり」の動きが全国各地で広がっています。

栄区内では、学習支援の活動が早くに生まれ、継続されて来ましたが、ここに来て、食事を提供する子どもの居場所の立ち上げが増えています。



子どもたちにとって、家庭や学校以外の場所に安心できる居場所があることは、いざという時に頼れる場所や人が増えることでもあります。

また、親や先生以外の大人と関わることは貴重な体験になります。



子どもの居場所が地域にあることは、温かな地域になる大きな力となるはずです。

子どもの成長と子育てを支援することは、一人ひとりの子どもや家族の幸せにつながるだけでなく、地域の未来をつくることに他なりません。

栄区で活動している子どもの居場所について
次のページでご紹介します。



区社協ホームページでも
事業紹介をしています。

詳しくはコチラ

栄区社協

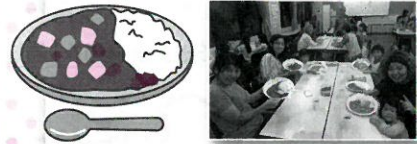
検索

視覚障害のある方にも広報誌の情報を提供できるように音声訳版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。

栄区子どもの居場所マップ

① たまり場とよだ

開催日時：第2木曜日 16時～19時
開催場所：豊田地区センター
対象：どなたでも
参加費：高校生以上300円



だれもが集える
オープンな居場所
カレーを食べて
笑顔が溢れる場

③ 桂台げんき食堂

開催日時：第2火曜日 14時30分～19時
開催場所：桂台地域ケアプラザ
対象：小中学生
参加費：100円



学習のお手伝いと共に
あたたかい食事を用意
しています。

② こども食堂にこここ

開催日時：プレミアムフライデー(最終金曜日)
17時～19時
開催場所：ふあみりーさぼーと泉(飯島町)
対象：どなたでも
参加費：高校生以上300円



美味しいご飯と体
験工作ができます。
事前にご予約が必
要です。

④ こどもカフェ上郷

開催日時 第3水曜日 16時～19時
& 野七里地域ケアプラザ
開催場所 土or日曜日 11時～14時
上郷地区センター
※毎月一回、上記会場で交互に実施
対象：小学校4年生以上の学童、大人
参加費：子ども100円、大人300円



学習、遊びが自由に
できる居場所で時間
に応じて夕食、昼食
を提供しています。



⑤ 楽習教室 (学習を支援する会)

開催日時：第1・3日曜日 13時30分～15時
開催場所：豊田地域ケアプラザ
対象：小中学生
参加費：無料



基礎的な学習が身に付くよう
原則一対一で支援しています。

⑥ 楽習教室 (学習を支援する会)

開催日時：毎週水曜日 15時～17時
開催場所：本郷地区センター
対象：小中学生
参加費：無料



⑦ てらこや・かみごう(学習を支援する会)

開催日時：毎週火曜日 15時～17時
開催場所：上郷地区センター
対象：小中学生
参加費：無料



子どもの居場所活動団体では学習支援や食事づくり等のボランティアを募集しております。
また、子どもの居場所を利用したいという方も是非ご連絡ください。利用には、事前申し込み等が必要な
場合もあります。詳細については、栄区社協にお問い合わせください。

※上記団体は2018年12月現在、栄区社協で把握しているものです。

第32回栄区社会福祉大会が開催されました

平成30年11月21日(水)第32回栄区社会福祉大会(主催：栄区社会福祉協議会、栄区内7地区社会福祉協議会)がたちーらんど(栄公会堂)で行われました。

第1部の式典では、次の皆さまが表彰されました。(敬称略・順不同)

【ボランティア活動功労】			
中易 武雄	深堀 トモ子	遠藤 光子	鈴木 重隆
二村 忠彦	西村 武次	ジョニー村上	野口 淳
伊藤 尹一	中澤 ひろ子	佐藤 篤	蒲谷 稔
不二聖心女子学院 奨学会	横浜地区会	おと工房ほりま	
世代間交流サロンぬくもり実行委員会	サロン梅の家		
いの山プラチナ会生活応援チーム	野七里助っ人隊		

【金品寄託功労】

上山 由美子

【福祉団体自主活動功労】

滝口 きみ子	柳下 衛
鎌石 順三	青木 功
藤川 正恵	大類 鞠子
松永 勇治	



第1部 式典の様子



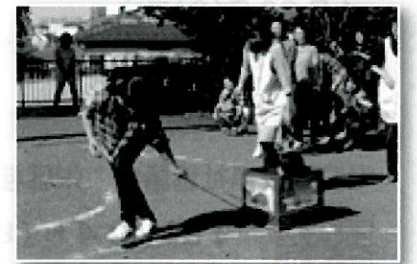
第2部
演奏会の様子

第2部では、マリンバ演奏者である市瀬孝子さんと、パートナーのピアニスト渡辺藤子さん、パーカッションの馬飼野房枝さんと米川利子さんの4名を招いて演奏会を行いました。

市瀬孝子さんは上野学園大学音楽学部器楽科を卒業後、マリンバを吉川雅夫氏に師事。海外や国内での演奏も各地で行っており、ボランティアとしての活動も数多くされています。美しい音色と楽しい演奏で大好評に終わりました。

会員団体活動訪問記 「子育て支援ボランティア まつぼっくりの会」

豊田地域ケアプラザにて活動する「子育て支援ボランティア まつぼっくりの会(代表：田口典子)」を訪問しました。この会は豊田地域ケアプラザの開設時(平成6年)初代所長の井上まつ江さんが元保育園の園長経験者であった事で、ケアプラザ内に子育て支援の拠点を作ることが将来子育て支援事業の発展に繋がると考えられ、会を立ち上げてから今年で23年目を迎えました。最初はボランティア3名で始めましたが、現在は17名で活動しています。



現在は、自主事業として1.6歳児講座を年に12回(毎年5月～翌年3月まで)開催しています。最初の数回は講座が主で、残り数回は18組の親子が主体となる自主的なサークル活動の支援をしています。豊田地域ケアプラザ事業としてはティーサロンを毎月2回で23回開催し、親子の個別相談支援等を行っています。共にリピーター参加親子が多く充実しているそうです。1.6歳児講座に関しては毎年18組の親子募集を抽選で決めている状況です。

訪問した日はボランティアの方7名、登録されているメンバー18組19人(1組は双子)が参加され、開始の10時からホールに集まりお絵かきのあと円座になって、一人ひとりの名前を呼びながらピアノの伴奏に合わせて歌をうたいました。当日は近くの公園で「うんどうかい」が計画されていました。雲一つない青空の下、準備体操、玉入れ、つなひき、そして、箱にお子さんを乗せての競争等、ボランティアのみなさんが前日から手作りで準備された用具で、楽しく活動されていました。この間、お母さん方は情報を交換したり会話を楽しんだりしていました。



代表の田口さんは「活動をしていて嬉しいことは、一人目のお子さんはもちろん、二人目、三人目と出産のたびに「まつぼっくりの会」の活動を楽しみにしているという声を親御さんからたくさん聞くことです。ボランティア不足で若い世代に運営の世代交代ができない悩みもありますが、いつの時代も子どもの笑顔は幸せを運んで来ます。私達ボランティアも元気をもらって、今できることを継続させていきたいと思っています。」と述べておられました。(戸間・涌井)